

S S T K



さくら草だより

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0011 川口市元郷 1-10-13
電話 048-225-1625

編集人 社会福祉法人さくら草
〒336-0015 さいたま市南区太田窪 3501-2 電話 048-813-7426 Fax 048-886-6301
HP <http://www.sakuraso.net/> E-mail sakuraso@www2.kiy.jp

さくら草製品販売中！

製品の売り上げはあまり多くはありませんが、利用者の工賃(給料)として手渡ししています。ニヤニヤしたり、固まったり...。「やったあ。がんばった甲斐があった」興味のある方は記事を書いた(担当職員)までご注文をお願いします。

陶芸

ひとつひとつ手づくりなので同じものはありません。今の一押しはこちら陶芸で作ったぬくもりのある器にアロマキャンドルを入れました。プレゼント用など受注生産も承ります。また商品を置かせてくれるお店も募集中です！(森戸)



せっけん

石鹸作業に慣れてきて意欲的です。この間の石鹸教室で三毛猫石鹸を作りました。一番作るのが難しい石鹸です。作業に集中する事を覚えてきたので、難しい三毛猫石鹸を予定時間より早く完成出来ました！皆さんが実際に使って知り合いの方々に宣伝して下さると幸いです。(星野)



『フォレスト』 『三毛猫』
『桃色吐息』

お茶



さくら草のお茶は、静岡から取り寄せています。200グラム、1000円で香りが良いと評判です。5月中旬になると「新茶」に変わり、また違った風味が味わえます。ぜひお試しください。(富田)

グッズ販売

見えない気持ちが絵になりました。前はTシャツ！おもしろいと感じる皆さんへ。次はどんなグッズがよいと思います？(野島)



紙製品

コスモスの紙漉きでは『字はがき』生産中です！乾かす前の段階で、カラフルな想い想いの文字を閉じ込めます..要望があれば、オーダーメイドも可能ですヨ(鈴木)



コスモス班の日常

利用者豊島さんからひとこと。

みんなの日をやって行く中で、みんなで話すこともいいことだと思います。いろいろな人の意見も聞けたり、自分と一緒に意見だったり、みんなから話を聞いて記録をしています。お話ができる人たちで、うまく出せない人たちから考えを聞く工夫をしたらもっとよくなると思います。(豊島)

みんなの日 = 利用者自治活動の一端です。



ふたば班



こながや かずひろ
小長谷 和寛



くりはら まさし
栗原 将司



ちだ ゆりか
千田 吉合香

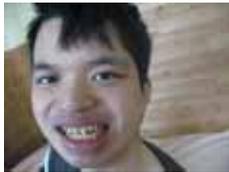


めぐる たつや
目黒 達也

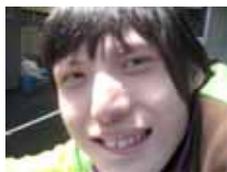
みのり班



おかもと あずさ
岡本 梓



かわむら けんた
川村 健太



こさか まさや
小坂 允哉



とみづか しょうた
富塚 翔太

コスモス班



とくやま ゆき
徳山 由季



のざわ ゆうき
野澤 友紀



やまもと なつき
山本 夏輝

ふたば
みのり
コスモス
へ

今年度もさくら草、コスモスに新利用者を迎えることが出来ました。笑顔がいっぱいの毎日をそれぞれの班で作っていきます！！

おまつり

日時：10月29日(土) 10:30~15:00
場所：デイセンター さくら草

さいたま市南区太田窪3501-2
(南浦和駅より、柳崎循環行きのバスにて10分
円正寺下車、華屋与兵衛 向かい)

模擬店・体験コーナーなどを予定しています。雨天決行
みなさん、是非遊びに来てください！

新入職員紹介



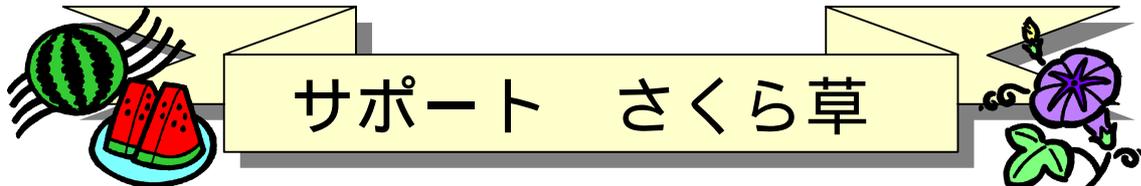
4月8日からアシスト職員として採用された板橋伸明です。昨年度まで学生の身分でした。さくら草を通して、社会の厳しさや挨拶の大切さを感じている日々の毎日です。まだまだ職員として未熟な者ですが、1日1日を必死に頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

<活動報告>

(23年 1月 1日~23年7月31日)

1月 6日	ボラ舞踊	4月 14日	みのり班お花見
1月 12日	さくら草成人式	4月 27日	ふたば・コスモスおたのしみ会(味噌祭り)
1月 19~21日	中学生職場体験実習受け入れ	5月 30日、6月 7日	歯科研修
2月 26~28日	中学生職場体験実習受け入れ	6月 14日	避難訓練(地震を想定)
2月 19、20日	大谷口幼稚園バザー	6月 28日	健康診断
3月 29日	入所式		

健康診断 年2回 ヘアカット(理・美容) 通院介助 体重測定 毎月 誕生会 各誕生月 音楽療法 月1回
アロマセラピー 月1回 みんなのアトリエ 月1回 趣味の日 月1回~ 静的弛緩誘導法訓練会参加 月1回
陶芸 週1回 家族会 月1回 ボラ音楽交流会 授産品せっけん教室-月1回



～サポートさくら草の震災時対応について～

東北地方太平洋沖地震により被災されました皆様に、心からお見舞い申し上げます。

サポートさくら草でも地震当日、保護者の方と連絡が取れずに、対応に困惑する場面がありました。今回の教訓を今後の対応にいかしたいと思います。

サポートさくら草利用時に大規模災害が起きたときには、

- ・ サポートさくら草に連絡を取り、引渡し等の対応を打ち合わせてください。電話が繋がりにくいことが予想されます。優先回線となる公衆電話から、サポートさくら草の固定電話にかけると比較的繋がりのやすいので、公衆電話からの連絡をお願いします。
- ・ 建物倒壊の危険があるときには、サポートさくら草駐車場を避難場所として、お迎えをお待ちします。
- ・ 電話が直接つながらないときには、災害時伝言ダイヤルを利用して連絡を取り合うようにしてください。簡単な使用法を下記に記しておきますので、ご確認ください。「×××…」の部分にはサポートさくら草の電話番号「048-885-9155」を入力してください。市内からの通話であっても市外局番「048」は必要です。

サポートさくら草が指定被災地外の場合、使用できないこともあります。

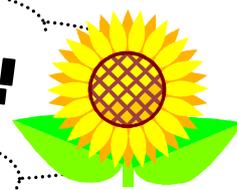
災害用伝言ダイヤル(171)は、被災地の方の電話番号をキーにして、安否等の情報を音声で登録・確認できるサービスです。



- ・ 原則として保護者の方がお迎えに来てくださるようお願いいたします。保護者の方が帰宅困難・自動車移動不可の場合は連絡を取り合い、対応を打ち合わせてください。
- ・ 万が一サポートさくら草利用時に大規模災害が起こった時には、利用者さんの安全確保を第一に考えて行動したいと思っています。ご協力をお願いいたします。



サポートゆず



* * あなたの頭はどれだけやわらかいか クイズ* *

問1 下の図に線を1本引いて箱にしてください

×



問2 下の文字はある法則に従って並んでいます、 に入る漢字はなんですか？

白 青 灰 桃 銀 赤

答えはスタッフまで...♡

～ヘルパー会議の中で～

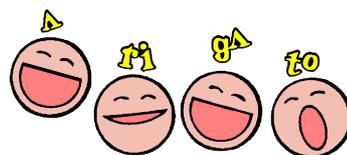
5月25日、谷田が「接遇・マナー講習」を受けてきました。その講習の中で最初に出されたのが上のクイズです。“接遇とは頭が固くてはできない！”との講師のお言葉に「さて、ゆずのスタッフはどうか...?」 6月22日今年度初のヘルパー会議には30名が集い、このクイズに答えてみました。両方ともに正解者は2～3名。かくいう私(丸中)も「うのちゃんヒントは？」と悪あがきをする始末。わからない自分が情けなくなりました。皆さん、制限時間は2分間です。

介護現場での接遇とは...

利用者がスタッフから大切にされていると感じる事

家族がスタッフから大切にされていると思える事

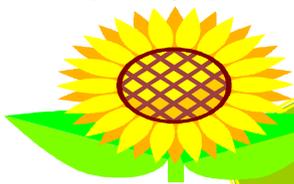
私たち、常に柔軟なゴムのような頭を持ち、心をみがき、利用者、ご家族にいつもそっと寄り添える人、場所でありたいと改めて思いました。(丸中)



～接遇・マナー研修を終えて～

研修内容は、主に高齢者介護の現場を対象とした接遇マナー研修でありました。なので、ゆずの利用者に対しては、どのような接遇マナーで接していけば良いのか...私自身の中での課題としてあります。利用者に堅苦しさを感じさせてしまうような接遇では、やっても意味がないと考えますが、逆に、ゆずでは接遇マナーは必要ない...とも私は思えません。

接遇の原点である、<お互いが感謝し大切に思いあい人として好意をもって接する、どんな状況でも誠意をもって対応する姿勢をもつ>を心に刻み、相手の気持ちを穏やかにしお互いの心の中が幸福感で満たされるような、“サポートゆず”なりの接遇マナーを見つけていきたいと思えます。(谷田)



南区障がい者生活支援センター

あみ~ご



あみ~ご5周年 今年度6年目にはいったあみ~ごです。

<あみ~ご年表>

- ・ H18年 障害者生活支援センター 開所 機関への挨拶 「自立支援法」説明会 制度の相談が多い。あみ~ご周知のため奔走の日々。
- ・ H19年 相談室改修 らんらんランチなどイベント試行を重ねる。 学齢期の方の放課後のすごし方の相談増加してくる。
- ・ H20年 素敵な大人になるために開催 電話相談が増える。 単身生活の方からの相談も増えてくる。 学校関係の方々と会う機会がふえる。
- ・ H21年 出張相談会 in 南区開催 生活の場や経済状況の問題。介護保険と福祉サービスの狭間の相談
- ・ H22年 生活支援センター紹介の場がいくつかあった。 福祉課・包括支援センター・法テラスのかたとの共同作業ふえる。

こんな先輩知っていますか？シリーズ 就労してます

いろいろな障害をもちつつ働いている人たちがいます。そんな先輩たちにいろいろアドバイスをもらいました。

いる。

何年働いていますか？
1~3年 3名 5~9年 3名 10年以上 1名

良かったことは？
よく教えてもらえる。 皆が優しい。 自分のお金が手には

気のある仲間がいる。 女の人(男の人)が多い。

困ったことは？
休ませてくれない。 休みの日何してよいかわか

らない。

仲間(同僚)がいない。 疲れてても残業ことわれない。
ひまなときに何してよいかわからない。
気のある人がやめてしまった。
上司は理解があるが同僚は障害を理解してくれない。

今のたのしみは？
コンサートに行くこと。 家電製品のカタログ集め。 テレビを見る。
市報をみて講座やイベントに参加する。 図書館に行く。

先輩(仕事に就きたい・続けたい人)へのアドバイス。
話の出来る人(同僚でも、上司でも)を見つけること。
土日(休日)を楽しく過ごす。 無料のイベントはいろいろある。市報ばかりでなく月末の新聞のチラシは要チェック。



〒336-0022
さいたま市南区白幡5-11-16
電話・FAX 048-866-5098
相談受付 月~金 10:00~17:00

被災地を訪ねて

3月11日さくら草では、職員が落ち着いてと声をかけ、揺れが収まるまで車椅子や休んでいるベットの傍らに寄り添った。強い揺れに利用者と共にと覚悟を持った職員もいたことだろう。

未曾有の大震災の中で、災害弱者である障がい者の被災状況は？ 避難生活は？ 3ヶ月経った現状は？ やがて来るだろう関東での地震対策は？ と気になっていた。甚大な被害を受けた地に立ち、心に刻む必要がある。新たな仲間を受入れたデイセンターさくら草も少しずつ落ち着きが見えてきたこの機に、被災地で支援活動を行っている柴田理事長に6月24日(金)職員達と同行した。気仙沼から三陸海岸、志津川まで海岸沿いを壊れた橋を迂回しながら、被災状況および障害者施設5か所の現状に触れてきた。



* 被災したまま手つかずの施設

震災後3ヶ月が過ぎても手付かずの惨状もあり、時間が止まったように残っていた。自然の猛威にあつという間にのみ込まれ命を落とされた方々の無念を思うと胸に迫るものがある。

津波を免れた場所に来ると、一見、平常の暮らしが始まっているように見える。

本吉のケアホームは、津波の被害に遭わなかったので、一時期近隣住民も含め40名ほどが寝泊りした。食料が底をついたので、ケアホームの世話人がおにぎりをもらいに避難所に行き、実情を話しケアホームを避難所と見なして

もらえた。その後、水、食料を自衛隊に運んでもらえるようになった。3ヶ月を過ぎた現在、ようやく水が出るようになり漸く風呂に入れたと話されていた。しかし、まだ飲料は自衛隊に運んでもらっているとのことであった。

このケアホームでは、隣接地に復興補助金を得て児童デイを建設し、夏休み対策をしようと理事長と打ち合わせしていた。志津川では、職員の実家に仮設の福祉作業所を建ててもらい日中活動を始めていた。復興に向けた取り組みが徐々に始まっている。



* 仮設福祉作業所

お会いした施設職員は、日々障がい者を支えようと黙々と取り組んでいるが、被災直後のことに話が及ぶと胸に迫る思いが湧き出すようだ。辛い思いを胸にしまいこんで支援に当たっていた。

さくら草でも何かをしたいと利用者、職員から義援金を送った。また、気を張っていた支援職員に疲れが出てくる時期。さくら草職員2人を、介護支援の手伝いとして当地に派遣することにした。

当地を訪ね、改めて各種災害に対する避難訓

練を重ねること、家族・行政との連絡体制の強化、ネットワークを作り、地域とのつながりを深めることが大切なことだと確認した。それに施設が地域の中で福祉避難所としての役割を担うための準備など課題も見えてきた。人と人の絆を大切にしたい支え合うコミュニティーづくりに尽きるのだと実感した被災地訪問であった。

(山本)

編集後記

ウルフルズが笑えればという唄を歌っていた。沁みるわ～。ともに暮らす社会をつくれます。 広報第16号。(N)